



地域子育て支援だより

2021年度7月号 久宝まぶねこども園
TEL(072)992-2033

蛙や蝉の鳴き声に一層夏の訪れを感じられるようになりました。今年梅雨入りが早かったにも関わらず、梅雨明けが遅く、大雨による洪水や土砂災害等の大きな災害に驚かされます。今も不安の中で過ごされている皆様に、1日も早い平安を祈ります。

梅雨が明けると一層日差しが強くなり、熱中症や感染症などの体調管理に留意が必要です。しっかりと水分をとり、この夏も元気に乗り切りましょう。



園庭開放のご案内

※7・8月の園庭開放は中止します。

開催が決まり次第、子育て支援だよりにてお知らせいたします。

親子教室のご案内

※1学期に行う予定だった親子教室は、中止しました。

今後の開催については、子育て支援だより9月号または10月号でお知らせします。

※1学期の間は、地域の方に参加していただくイベントや行事は中止しました。安心・安全な状況が確認できましたら、ご案内いたします。

赤ちゃんの水分補給 どうしたらよいの？

大人に比べて子どもは汗かき。特に0～2歳のころは新陳代謝がよく、おしっこ回数も多いので、たくさんの水分が必要です。のどが渇いていても言葉で伝えられないこともあるので、大人が気を配ってあげましょう。

水分補給のコツ

- 水分は、吸収のよい湯冷ましや麦茶、番茶などがお勧め
- お散歩の前後や、あそびの途中も忘れずに
- 30分くらいに1度、50mlほどが目安
- 嫌がるときは、無理に飲ませなくて大丈夫。時間を置いてあげましょう



ベビーカーでの 熱中症に注意

地面に近く、アスファルトの強い照り返しを受けるベビーカーの中は、かなりの高温になっています。また、日差しをよけるためにレインカバーなどを掛けると、熱がこもって、蒸し暑い状態になることも。ときどきカバーを開けて換気をしたり、日差しの強いときのベビーカー移動は、なるべく避けてあげてくださいね。

炎天下での長時間の移動

レインカバーの掛けっぱなし

水分をとらないで移動する



子どもをベビーカーに乗せたままでの長時間の立ち話

